

一般質問

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



12月5日から9日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
 ※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。



笑顔あふれる町田をめざして



熊沢あり(諸派)
 小学校2学期制に関する、児童保護者の意見を取り入れるべきと考えるが。
指導室長 2学期制導入校において保護者、児童にアンケート調査を行い、具体的な効果、予想される課題への対応についても検証予定です。
道路部長 駐輪場用地を活用し、直進、右左折レーン設置の可能性を考えていきます。どのようなことができるのか、警察とも相談していきます。
副市長 ひなた村等と市の指定管理施設におけるナラ枯れの対策はどうなっているか。
総務部長 被害が小規模な場合、指定管理者は対象の樹木伐採などを行います。被害が大規模な場合、指定管理者は状況を報告し、施設所管部署は関係部署などと連携して対応することとなります。



ユニバーサルなまちづくりを



松葉ひろみ(公明党)
 施設整備の際には、視覚障がい者支援アプリ「ナビレンス」のようなツールを取り入れるべきではないか。
地域福祉部長 条例に規定する整備基準について解説した整備基準等マニュアルを23年度改訂予定であり、視覚障がい者を支援するツールの事例を紹介するなど検討します。
副市長 障がい者の日中一時支援を、まずはひとり親などに



物価高騰下での市内事業者育成



若林章(自由民主党)
 市内事業者育成のためさらなる受注機会の拡大を求める。
財務部長 町田市産業振興基本条例に基づき、市内事業者の受注機会の増大に努めるものとしています。今後も受注機会確保に努めていきます。
副市長 市民病院は、隣接する神奈川県の医療機関との広域連携を強化すべきかどうか。
市民病院事務部長 近隣市



多種多様な幅広い公共サービス



中川幸太郎(諸派)
 終活支援について現状と今後の。
いきいき生活部長 各高齢者支援センターにおいて、質問が月1件あるかないかになります。希望される方がやっておくべきことを確認できるように、案内を行っています。
副市長 町田市で電動キックボード活用についてどのように考えているか。
都市づくり部長 今後も有



町田市の農業・芝溝街道の整備



加藤真彦(自由民主党)
 学校給食への市内産農産物利用拡大への取組は。
学校教育部長 22年12月に町田市農業協同組合と学校給食における地場農産物活用に関する連携協定書を締結予定です。需給調整は、農産物の種類、時期、量について市で計画をつくり、町田市農業協同組合が供給を農業者にお願する取組を考えています。
認定農業者数減少の対策は。
赤塚副市長 補助制度などによる支援や新たな農業の担手の育成を図っていきます。
副市長 綾部交差点の整備予定です。
道路部長 都道整備に合わせ市道の改良を実施予定のため、範囲や時期などについて調整を進めているところで、工事着手まで、取得用地の一部を開放し利用することを都と調整しているところで、



中心市街地のまちづくり推進!



三遊亭らん丈(自由民主党)
 企業版ふるさと納税制度の活用に向けて、町田市の考えを問う。
市長 私をはじめ全職員が一丸となって、企業に対し積極的なプロモーションを行うていくことで、市の進むべきまちづくりへの共感の輪を広げていきたいと考えています。
副市長 中心市街地のまちづくりのうち、森野住宅周辺地区の今後を問う。
赤塚副市長 地区の強みを生かした住まいや憩いの価値を高め、変化に対応したまちづくりを目指していきます。
副市長 中心市街地のうち、町田駅周辺再開発について問う。
赤塚副市長 過ごし方の選択肢が多様にあり、訪れる人にとって特別な時間、体験となるような、魅力的でウォークアブルな拠点へと転換し、新たなにぎわいと交流の創出につなげていきます。



物価高騰下での不登校・園芸・博覧会支援



おんじょう由久(公明党)
 物価高騰等から予算運営が厳しい中、市民への支援策に影響しない事が大切だが。
市長 経済情勢や国、都の動向を見極め、真にお困りの方に支援が届くよう、地域ニーズや状況を的確に捉え、必要な対策を講じてまいります。
副市長 横浜市開催「27年国際園芸博覧会」では町田市の文化団体等にも活躍機会や交流の場が必要だが。
政策経営部長 渋滞は、住民の声を聞きながら情報提供や周知を行うよう働きかけた。市内団体とは、連携できる可能性があれば積極的に事務局と調整していきたい。
副市長 学校統廃合を進める今、不登校特例校設置等、不登校児童生徒の支援強化の時だが。
市長 適応指導教室の複数設置、不登校特例校の設置も検討していくことが必要であると思っております。



デジタル回遊性



木田英男(選ばれる町田をつくる会)
 町田駅周辺地区都市再生整備計画におけるエリアマネジメント広告の検討状況は。
赤塚副市長 バナーフラッグ広告は、22年10月から既に運用を開始しています。デジタルサイネージ広告は、23年1月の運用開始に向け、現在準備を進めています。
副市長 2号デッキに設置されるデジタルサイネージでは、災害発生時等に避難行動等の表示をすべきかどうか。
経済観光部長 避難行動を促すような表示ができるように検討を進めています。
副市長 デジタル技術を活用した観光面での回遊性向上の取組は。
経済観光部長 まちだ謎解きゲームを22年7月22日から開催しています。23年1月には、アニメ作品とコラボレーションしたデジタルスタンプラリーを開催予定です。



保育所運営の安定



森本せいや(まちだ市民クラブ)
 保育所等の運営安定化が必要。定員の弾力的運用と0歳児保育推進事業の拡大を。
子ども生活部長 ゼロ歳児入所の動向の変化を注視し、施設の意見を伺いながら対応していきたいと考えています。
副市長 鶴川駅改札口と既存の跨線橋を残すべきとの声が強い。地域の立場に立ち、小田急電鉄に強く求めてほしい。
都市整備担当部長 そうし



大地沢の自然は町田市民の宝!



おせき重太郎(諸派)
 23年4月から始まる大地沢自然交流サイトについて指定管理者から受けている提案は。
榎本副市長 食材や道具を持ち込まずに楽しめる手ぶらでバーベキュー、防災キャンプ講座などがあります。さらに、利用料金のキャッシュレス決済など順次導入予定です。
副市長 大地沢自然交流サイトと都立公園である大戸緑地の役割の違いは。
子ども生活部長 大地沢自然交流サイトは恵まれた自然の中で、キャンプやテントを利用した宿泊やバーベキュー、陶芸、工作教室などの体験ができる場所と考えています。
副市長 ガイドをつけて大地沢子ども生活部長 実施に向けて指定管理者に情報提供していきたいと思っております。